

ア 令和4年度 スポーツ課事業報告

① 生涯スポーツ関係 ※ 公益財団法人福島県スポーツ協会が事業実施主体となります。

項目	事業	事業内容	実績
推進体制の整備 関係団体の育成	ふくしま広域スポーツセンター事業の充実 (基金助成事業)	総合型地域スポーツクラブの創設・育成・定着をはじめ広域市町村圏のスポーツ活動を支援する。	※
	(公財)福島県スポーツ協会の組織強化活動支援	スポーツ振興の中核団体である(公財)福島県スポーツ協会へ職員を配置し、福島県スポーツ協会組織体制の強化と生涯スポーツ振興事業を推進する。	※
	スポーツボランティア事業 (基金助成事業)	スポーツボランティア関連事業に対して支援する。	
指導者の養成・ 確保と活用	スポーツふくしま普及啓発・住民参加事業	市町村や総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員、地域競技団体などの実務担当者に対するセミナーの実施や、子どもたちの夢・希望を育むスポーツイベントの県内各地での開催、スポーツボランティアの更なる育成による「ささえるスポーツ」文化の普及により、新たな「福島県スポーツ推進基本計画」に基づく生涯スポーツ活動の促進を図る。	
	市町村・スポーツ関係団体(連携促進)セミナー	市町村をはじめとした各団体の実務担当者を対象に、先進的な取組を行う総合型地域スポーツクラブの好事例を紹介するとともに、専門家によるセミナーを開催し、地域課題と今後のスポーツ施策のあり方を共有し、スポーツを核とした地域連携とコミュニティづくりの促進を目指す。	期日：4月20日 オンライン開催 計60名 27市町村 30名 総合型地域SC 25名 スポーツ団体 5名
	市町村スポーツ主管課長セミナー	市町村の実情に応じた地方スポーツ推進計画策定の普及啓発を図るとともに、総合型地域スポーツクラブへの理解を深め、行政と総合型地域スポーツクラブの連携を促進して地域の特性や現場のニーズに応じたスポーツ施策の展開を図る。	期日：8月31日 オンライン開催 44市町村 55名
	令和4年度福島県スポーツ推進委員研究大会の実施等 (基金助成事業)	福島県スポーツ推進委員研究大会や女性スポーツ推進委員、新任スポーツ推進委員の研修会等を通し、資質の向上を図る。	県研究大会いわき市 10月14日～15日 女性研修6月3日 88名 新任研修6月23日 61名
振興事業の 拡充	福島県総合体育大会 県民スポーツ大会の開催	総合体育大会の一部門として、一般県民が気軽に参加できる地域大会を開催し、地域スポーツの振興を図る。	
	スポーツふくしま普及啓発・住民参加事業	上記へ記載	
	輝け未来へ！ スマイルスポーツ教室 in ふくしま	オリンピック・パラリンピック競技種目をはじめとした関心の高い種目のスポーツ体験教室の開催により、スポーツを楽しみながら、トップアスリートの技能を見たり、これまでの経験を聞く機会を設ける。子どもたちに笑顔を届け、更なるスポーツ活動への参画を促すとともに、夢や希望を育みながら、未来へ挑戦するきっかけを提供する。	5月22日 スカイスポーツ教室 親子73組146名 9月4日ハートマン・車いすハートマン教室 43名 12月4日スポーツライミング教室 48名
	スポーツボランティア・レガシー事業	県内各地のスポーツイベントを支えるスポーツボランティア育成に向けた研修会を開催するとともに、イベントの主催者に対して、スポーツボランティアを活用したイベント運営についてのセミナーを開催することで、将来にわたってスポーツボランティアが活躍する文化を醸成することを目的とする。	初任者研修3回 42名 実践研修 21名 リーダー養成研修会 9名 スポーツボランティア交流会 55名 主催者対象ユニバーサル事業 33名
	ふくしまレクリエーションフェスタ2022(基金助成事業)	広く県民にスポーツ・レクリエーションの場を提供することにより、県民のスポーツ・レクリエーション活動を一層促進し、健康で明るく潤いのある県民生活の実現に資する。	いわき市 8月～10月
	スポーツ情報提供の充実 (基金助成事業)	県民のスポーツニーズに応え、スポーツ施設・指導者・仲間・イベント・健康相談等の情報を広報紙やホームページにより発信し、広く生涯スポーツ関連情報を提供する。また、プロスポーツの情報等も随時提供する。	年間随時 ※
	諸調査の実施	市町村活動状況、公共社会体育・スポーツ施設、体力・運動能力等について調査し、実態を把握する。	
	生涯スポーツ関係表彰	文科省・スポーツ推進委員・県等の表彰について調査・把握し、推薦する。	生涯スポーツ関係
	大会・イベント等の共催・後援	各種競技会の共催や後援により、円滑な大会運営とスポーツの振興に資する。	生涯スポーツ関係

② 競技スポーツ関係

※ 公益財団法人福島県スポーツ協会が事業実施主体となります。

項目	事業	事業内容	実績
組織の整備・拡充	(公財)福島県スポーツ協会組織強化事業	(公財)福島県スポーツ協会の運営に対し、補助金の支出や職員を配置し、組織体制の強化と競技スポーツ事業を推進支援する。	競技スポーツ担当 6名配置
競技スポーツ振興事業の充実	福島県総合体育大会の開催	国民体育大会・東北総合体育大会予選会等の開催を主催する。	7月9日～11日(主会期) 7地区別開催 13,305名 (12/31現在)
	国民体育大会・東北総合体育大会への派遣	国民体育大会・東北総合体育大会へ役員・監督・選手を派遣する。	8月19日～21日(主会期) 青森県 890名 10月1日～11日(主会期) 栃木県 469名
	各種競技会等の共催・後援	各種競技会の共催や後援により、円滑な大会運営とスポーツの振興に資する。	競技スポーツ関係
	スポーツふくしまビルドアッププロジェクト	国体等で上位入賞できる県内競技団体の「強化」に加え、キッズ・ジュニア世代の重点的な「育成」、潜在能力が高く将来性のある選手の「発掘」に取り組み、「発掘・育成・強化」の一体的な推進による持続的な競技力の向上を図る。	
	国体強化支援事業	国体等での入賞を目指し、県内競技団体がアドバイザーコーチやロールモデルコーチを招聘し強化練習会等を実施するための費用を支援することで本県選手の競技力の向上を図る。	38競技団体に補助 ※
	リアライズスポーツ強化指定事業	東京2020オリンピックを通して本県と関わりが深く、競技力向上に資することが期待される団体種目の少年種別を指定し、更なる強化を図る。	3競技6種目に補助 ※
	拠点スポーツサポート事業	各競技の強化拠点地域内のキッズ・ジュニア選手の活動を集中的に支援することで、効果的・効率的に発掘・育成・強化を図り、持続可能な強化体制づくりに資する。	8競技団体に補助 ※
	ジュニアアスリート強化指定事業	少年種別の強化の中心的な役割を担う高校・中学校・クラブチーム・ジュニア選手に対して、競技団体と連携を図りながら活動を支援する。	34競技団体に補助 ※
	ネクストアスリート支援事業	国際的な大会等での活躍を目指す若手アスリートに対し、JOC及び中央競技団体等が実施する強化練習会や国際大会などへの参加や医・科学的サポートに要する費用を支援する。	22名に支援 ※
	リーディングコーチ養成事業	競技団体の持続可能な強化体制を推進していく上でけん引役を担う指導者を養成する。	14名に支援 ※
	冬季国体強化支援事業	国体等での入賞を目指し、冬季競技団体がアドバイザーコーチやロールモデルコーチを招聘し強化練習会等を実施するための費用を支援することで競技力の向上を図る。	3競技団体に補助 ※
	ふくしまシャイニングスタープロジェクト	将来、国民体育大会や国際大会での活躍を希望する中学生に対して発掘テストを実施し、将来性があるアスリートを発掘する。	2競技団体に補助 ※
	地域連携型人材育成事業(新双葉地区教育構想)	バドミントン競技とレスリング競技において、国内トップレベルの指導を展開するための専任コーチを招聘し、中高連携の一貫した指導体制を構築し、世界で活躍する優秀な選手を育成する。	バドミントン競技2名 レスリング競技1名 ※
	ふくしまスポーツキッズ発掘事業(基金助成事業)	将来有望なジュニア層を対象に共通した理念や指導に基づいたトレーニングを実施し、競技に適した人材(タレント)の発掘とその育成・強化を図る。	第1ステージ138名 第2ステージ40名(選考) ・クロストレーニング延べ119名 ・体験プログラム延べ330名 第3ステージ18名(中学) ※
ふくしまゴルフプロジェクト(地域政策課事業)	地域資源のゴルフ場を有効活用し、一般社団法人日本女子プロゴルフ協会と連携を図りながら、ゴルフ人材の育成やゴルフを通じた交流拡大を図る。	高校出前講座延べ767名 スナッグゴルフ教室133名 ジュニアゴルフ塾19名 指導者養成講習会8名 (12/31現在) ※	

③ 障がい者スポーツ関係

☆ 公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会が事業実施主体となります。

項目	事業	事業内容	実績
福島県障がい者スポーツ協会運営費補助	福島県障がい者スポーツ協会運営費補助金	本県の障がい者スポーツの振興を推進する中核的組織である協会に対し、その円滑な運営を期するため運営費の一部を助成する。	
障がい者スポーツの振興	障がい者スポーツ振興事業	障がい者スポーツの振興による障がい者の福祉向上を図るため、県障がい者大会の開催や指導者の養成を行うとともに、障がい者が安心してスポーツに取り組める環境整備等の障がい者施策を総合的に推進する。	
	福島県障がい者スポーツ大会開催事業	福島県障がい者スポーツ大会を開催する。	5/15・22 福島市 他 9競技 511名
	初級指導員養成講習会開催事業	障がい者スポーツの振興を図るため、初級指導員養成講習会の開催	11/26、12/3、12/4 18名
	(障がい者スポーツ振興・育成事業) 運動導入教室開催事業	障がい児には遊びを通して体を動かすことの喜びを、在宅障がい者には積極的なスポーツ活動を通して社会参加・自立・復帰を促進するとともに選手発掘の機会とする。	福島市 22回 延べ139名 郡山市 45回 延べ148名
	(障がい者スポーツ振興・育成事業) 種目別スポーツ教室開催事業	種目別スポーツ教室 障がい者が運動スキルの基礎を楽しく身に付け、得意分野を発見できるように様々な種目のスポーツ教室を開催する。	9競技 延べ690名
	(障がい者スポーツ振興・育成事業) 各障がい者スポーツ大会支援事業	各障がい者スポーツ団体が県内において開催する各種競技大会の開催経費の一部を助成する。	3団体助成
	(障がい者スポーツ振興・育成事業) 障がい者スポーツ指導員養成事業(資格取得)	障がい者スポーツ指導者の中・上級者資格等取得に必要な各種講習会の受講支援を行う。	☆
	(障がい者スポーツ振興・育成事業) ふくしまネクストアスリート支援事業	今後の本県障がい者スポーツを担う選手を指定し、中央競技団体、個人等で実施する強化練習会や国際大会に参加する費用の支援を行う。	22名指名
	(障がい者スポーツ振興・育成事業) 団体競技強化支援事業	県代表団体競技チームが強化合宿や練習会を実施する場合に必要な費用を助成する。	☆
	(新)スポーツからはじめる共生社会実現プロジェクト	東京2020パラリンピック開催等により、これまで以上に高まった障がい者スポーツの関心を、参加することへと繋げていくため、障がいがある人とない人が一緒に身近な場所でスポーツに取り組むことができる環境を推進する。	
	ステップアップ × 魅力発信	様々なパラ競技の出前講座や体験教室、ポッチャ大会の企画、また、県内の既存イベントに、障がい者スポーツのデモや体験イベント等を実施し、障がい者スポーツの魅力を発信する。	出前講座：41団体 ブース出店：2回
	ステップアップ × 環境整備	誰もが参加できるスポーツを身近な場所で楽しめるよう、地域に根ざした支援者を育成する研修会の実施。また、パラ競技の用具の貸出等を行い、誰もが挑戦できる環境を整備する。	大学生を対象とした 研修会：3回 用具貸出：17件
	全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業	全国障害者スポーツ大会へ選手団を派遣し、競技等を通してスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進を図る。	☆
全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業	全国障害者スポーツ大会に選手団を派遣する。	10/29～31 栃木県 8競技 43名派遣	

④ 東京オリンピック・パラリンピックのレガシー関係

項目	事業	事業内容	実績
東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連事業の推進	東京 2020 オリンピック・パラリンピックレガシー事業	復興五輪として開催された東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを継承し、スポーツによる交流人口の拡大と継続的な情報発信等により本県の復興の加速化を図る。	
	都市ボランティアレガシー事業	都市ボランティアへの活動機会の提供や、県内ボランティア団体とのマッチングの機会を設けることなどにより、ボランティア活動の継続と裾野の拡大を図る。	○ボランティア活動（8回、延べ 240 名参加） ○研修交流会（7/3、58 名参加）
	あづま球場聖地化事業	オリンピック会場となったあづま球場に野球・ソフトボールの国際大会等を誘致し、スポーツによる交流人口の拡大を目指す。	○JD リーグの開催（5/7～5/8 あづま球場） ○日米対抗ソフトボールの開催（8/6～8/7 あづま球場） ○東都大学野球リーグの開催（9/3 あづま球場、9/4～9/5 開成山球場） ○スポーツを通じた被災地交流事業の開催（8/6～8/7 あづま球場他、74 名参加）
	ホストタウン等交流支援事業	ホストタウン等と相手国との継続的な交流事業を支援し、国際交流の活性化を目指す。	○補助金交付（3 市町、4 カ国）
	レガシードリームプロジェクト	オリンピック・パラリンピアンとの交流イベントや学校での出前授業を実施し、子どもたちの夢や希望をはぐくむ。	○ドリームミーティング（10/16 J ヴィレッジ、197 名参加） ○あづまの郷ウォーク大会（11/3 あづま総合運動公園、1,500 名参加） ○アスリート教室（12/7 会津若松市立謹教小学校、56 名参加、1/30 矢吹町立矢吹中学校 160 名参加）